

中島小 4年生から6年生が高速道路工事現場を見学しました！

5月30日中島小学校の4年生から6年生が高速道路の工事現場の見学に行きました。見学会では、最新型のバックホウや220トンクレーンに乗り、機械の使い方や、クレーン車から見える景色に夢中になっていました。移動中には、使用されるボルトの本数や、機械の使い方などたくさん質問をしていました。

見学会の記念として、実際に使用されるボルトに一人ひとり名前などを書きました。名前を書いた部分は、柱の中に入れてしまうため、使用後は見えなくなってしまうのですが、自分の名前が書いてあるボルトが橋をずっと支えていくという説明にうれしそうでした。

最後の集合写真撮影では、ドローンでも撮影され、児童たちはドローンが砂を巻き上げながら飛ぶ瞬間や、どんどん近づいてくるその姿に大興奮でした。



説明に聞き入る児童たち



どうやって動くのかな？



ボルトの数は・・・



橋と一緒に記念写真



名前と絵を書いたよ！

通信制の一ツ葉高校の200名の生徒が田植えに挑戦！

旧白糸第三小学校に本校を設置している通信制高校一ツ葉高等学校の東京、千葉、福岡、熊本の各キャンパスから約200名の生徒が来て、馬見原散策や通潤橋見学、そして田植え体験を行いました。

田植え体験では、足が泥の中に埋まっていく感触や、歩みにくさなど、田んぼならではの感覚を楽しんでいました。要領をつかんでくると、苗の量や、植える深さなどを地元の目丸・津留地区の有志の方々に教わりながら、真剣な表情で植えていきました。

午後からはあいにくの雨模様でしたが、生徒たちは雨にも負けず最後まで楽しみながら田植えを行いました。



熊本発祥のキッズバレー普及活動 ～キッズバレー教室開催～

5月28日(日)矢部小学校体育館でキッズバレー教室が開催されました。

保育園児、小学校低学年の児童を対象としたバレー教室で、ボールに触れて体を動かすことでスポーツの楽しさ、バレーボールの楽しさを学ぶこと目的として開催しています。

キッズバレーは、熊本県のキッズバレーボール推進委員会が全国ではじめてルールやプレー方法を作り、立ち上げたバレーボールの一つです。

参加した約20名の子どもたちは、キッズバレーのために開発されたキッズ体操で体をほぐした後、ボールを使った遊びや、チームに分かれて試合形式でゲームを行いました。

山都町バレーボール協会の國武保英会長は、「キッズバレーについては熊本が発祥だが、全国的にも知られていない。キッズ世代の更なるバレーボールの普及と人材育成のため、今後も定期的に行い、ますます参加者が増えるよう協会として努力していきたい」と次回開催に向け意気込みを述べられました。



新茶まつりできき茶体験

5月28日に道の駅「通潤橋」で新茶まつりが開催されました。会場では、釜炒り茶手もみ体験や、矢部高校生による野点、「桜茶がゆ」のふるまいや「きき茶会」など様々なイベントが行われました。きき茶会では、6種類のお茶が出され、参加者は出題者からのヒントをたよりに匂いや色、味などわずかな違いを比べながら考えていました。

会場では新茶のほか、冷茶や特産物の販売も行われ、にぎわいました。



山都町協会旗春季選手権大会開催

第13回山都町協会旗春季選手権大会が5月10日から5月17日までの3日間、矢部中央グラウンドおよび清和グラウンドにて開催されました。

大会には町内の社会人野球チーム7チームが出場し、「岳友チーム」が「矢部高校野球部OBチーム」を熱戦で制し、見事優勝しました！

